



独立行政法人
地域医療機能推進機構

北海道病院 広報誌

Vol.36

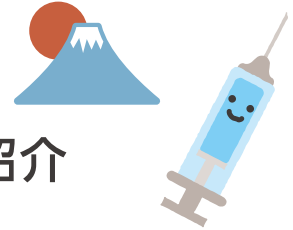
令和5年
2月14日発行

北海道病院 だより

特集

P1 新年のごあいさつ

P4 今月の診療科紹介 | 麻酔科のご紹介



Contents

P5 新任医師のご紹介
シャワーヘッド設置のご紹介

P6 第59回リバーサイド消化器懇話会
災害救急指定日 / 今号の1枚 ~表紙写真紹介~



❀ 新年のごあいさつ

新年明けまして
おめでとうございます。

院長 古家 乾

本年で新型コロナウイルス感染症も4年目に入ります。4月以降、本邦ではこの感染症の5類への格下げも現実味を帯びてきました。ワクチンと治療薬が普及してきた状況から、そろそろ医療・感染対策と経済対策の両輪のバランス及び人々の交流が活発化する事を誰もが望んでいると思います。

当院は、北海道社会保険中央病院として1953年(昭和28年)2月に開設されました。従ってこの2月で開院70周年を迎えます。コロナ禍で様々な行事が延期されてきましたが、現在のところ、2023年8月26日に札幌パークホテルで70周年記念式典及び祝賀会を開催する予定で準備を進めております。また年度が変わりましたら、詳細をご案内させていただきます。

昨年4月に公表した地域医療構想に基づく当院とKKR札幌医療センターの産科周産期医療と悪性腫瘍等の集学的治療を行う婦人科の機能分化が4月1日よりスタートします。それに伴い小児科領域でも当院が新生児医療(NICU・GCU)を主とする小児医療を担い、KKR札幌医療センターは小児科領域のアレルギー・リウマチ等の専門分野や児童精神分野に注力することになっています。いずれにせよ、両病院が協力して、この地域の産婦人科、周産期、小児・新生児医療のレベルアップに貢献したいと考えておりますのでご理解を頂けましたら幸いです。

向後2年間で正に2025年問題に直面します。少子化対策、外国人との共生、AI・ロボットの導入などが、生産性の確保につながりますが、医療介護費の削減及び労働力の確保に向けて健康寿命の延伸も重要なテーマです。そのような目的で、我が国発の破壊的イノベーションの創出を目指し、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発(ムーンショット)が進められています。2020年1月から2021年9月にかけてムーンショット目標1-9が決定されました。その中の目標7が正に健康寿命延伸に向けたプロジェクトであり、「2040年までに、主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康の不安なく人生を楽しむためのサステナブルな医療・介護システムを実現」と謳われています。この目標7のプログラムマネージャーである東京大学医科学研究所副所長・癌防御シグナル分野教授である中西真先生に、先に述べた70周年記念式典の特別講演でこの内容をご紹介いただく予定です。新しい斬新な研究が、未来に希望をもたらす一年になるよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。

副院長（消化器センター長・総合支援センター長） 数井 啓蔵



2022年はどんな年でしたでしょうか。新型コロナも感染力の強いオミクロン株に変化し、北海道では8月、11月と猛威を振るいました。そんな中で行われたサッカーワールドカップの競技場ではマスクをしている人はほとんどおらず、満員の客席では大声で声援を送っていました。こんな光景を目にすると世界では新型コロナはどこへ行ったのだろうと不思議に思えてしまいます。アフターコロナはまだ先で、ウィズコロナがまだしばらく続くと思えます。当院では、5月、8月、11月に2回と計4回のクラスター発生が起きましたが、感染病棟への早期隔離、ゾーニングの徹底、入院・手術の制限など行い、長期化せずに終息させることができました。しかし、この期間近隣の先生方から多くの患者さんを紹介いただきましたが、病床が逼迫し何度かお断りすることもあり、とても心苦しい思いでした。

今後もクラスター発生は起こりうると思いますが、できるだけ診療縮小しないで、地域医療に貢献できるように努力していきたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

副院長（周産期医療センター長） 山田 俊



3年ぶりの行動制限のないお正月、大切な人と笑顔で迎えられたことと存じます。

未だ先のことは見通せない状況ですが、今年こそ、ふと気づいたら世の中が明るくなっている、そのような感じで収束していくような予感がします。

さて、周産期の領域では、コロナ禍が少子化傾向に拍車をかけ、2022年の出生数は80万人を下回ることが予想されています。2015年にはちょうど100万人でしたから、7年間で20%以上減少したことになります。この少子化の荒波の中、医師の働き方改革を見据えて、本年4月以降、当院とKKR札幌医療センターで診療機能を再編し、当院はおもに産科と新生児医療に、KKR札幌医療センターは婦人科と一般小児科診療に重点を置くことになりました。単なる役割分担ではなく、診療や臨床研修を補完しあい、相乗効果が得られるような協力関係を目指します。今年は、和痛分娩の導入、周産期医療センターの拡張工事も予定しています。これからも、変化していく社会と時代の要請に応えながら、地域の周産期医療機能を維持し、よりよいものに進化させることができればと思います。

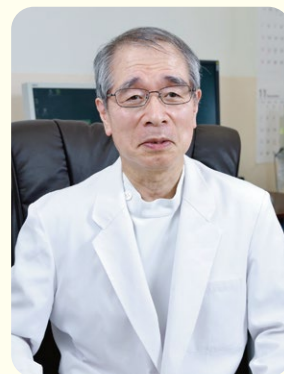
本年もご支援をよろしく願いいたします。

新年のごあいさつ

.....
新年明けましておめでとうございます。

附属介護老人保健施設

診療部長 大江 真司



.....
コロナ禍から約3年経過しましたが、なかなかコロナを根絶できないどころか、感染者の増加が目立ってきております。そのような状況ではありますが、コロナの致死率が低いことから世の中は経済を活性化させる方向にシフトし、外出制限なども緩和されてきました。しかし高齢者についてはコロナに罹患することで基礎疾患が悪化し、それによる死亡率の増加が問題になってきております。

当施設では入所者やスタッフがコロナに感染した場合や発熱、咽頭痛などの症状があった場合、家族にコロナ感染があった場合、必要に応じて頻回にPCR検査等をしており、その結果クラスターの発症もなく現在に至っております。今後もこの体勢を維持することになると考えられます。

コロナ禍において入所者数はある程度維持されておりますが、通所利用者の人数は減少気味で当施設以外にも介護施設を利用できない高齢者が増加しコロナフレイルと呼ばれる高齢者が増加している可能性が考えられます。当施設では通常の体制を取り戻すために懸命に頑張っております。高齢者施設の楽しい行事が早く再開されて利用者、職員の笑顔が元に戻ることを祈っております。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



▼ JCHO北海道病院附属介護老人保健施設



今月の 診療科紹介



麻酔科のご紹介

麻酔科部長 実藤 洋一



当院麻酔科では5名の医師(麻酔専門医4名)で麻酔業務・ペインクリニック外来を行っております。

この3年間、COVID感染に翻弄されながら医療行為を行っておりますが、決して無理をせず自重しながら仕事・日常生活を送っております。

麻酔業務について

昨年の麻酔科管理の手術件数は約1,500件で前年より少し増加しました。一般的な外科系手術の全身麻酔管理が多くを占めますが、当院が小児科・産科の密接な協力のもとに地域周産期母子医療センターとして機能しているため、緊急を含めた帝王切開術の麻酔管理が多いのも大きな特徴となっております。



その他、COVID患者の入院施設になっておりますので、数は少ないのですが感染患者の手術・麻酔管理も行っております(当初の不慣れな時期は、宇宙服のような過剰ともいえる防備で行ってまいりました。現在はTVのニュースで映し出される集中治療現場の医療スタッフと同等の装備で行っております)。

ペインクリニック外来について

ペインクリニック外来は3名の医師(全員がペインクリニック専門医)で行っております。こちらもCOVID感染の蔓延による外出・受診控えにより当初は受診患者数が極端に減少しておりました。最近、少しずつ戻ってきた感がありますが、まだ以前よりは少なめです。

対応している主な診療内容

帯状疱疹に関連する痛み

脊椎疾患による腰下肢痛

- 椎間板ヘルニア ● 脊柱管狭窄症
- 圧迫骨折 など

内科疾患に起因する痛み

- リウマチ
- その他の膠原病・糖尿病関連 など

手術関連

- 術後痛

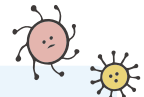
筋肉・関節に関わる痛み

- 肩こり ● 五十肩 ● ぎっくり腰 など

ペインクリニックの話題の一つとして、COVID蔓延化で帯状疱疹患者が増えた?と言われております。COVID患者・ワクチン接種者は帯状疱疹の罹患率が高い?という欧米の報告(エビデンスレベルは低い)があるようです。確かに当科でも帯状疱疹関連痛の紹介だけは減っていないような印象があります。

感染対策は十分に行っておりますので、帯状疱疹などの夜もよく眠れなくなるような強い痛みは決して我慢をしないで早めに受診ないし紹介して下さい。

今後はCOVID関連の規制も解除の方向へ向かい、対応方法も変化していきますので、その都度対処していく所存です。



はじめまして!

新任医師のご紹介

皮膚科 米田 大介



初めまして。2022年12月より着任いたしました、皮膚科の米田大介と申します。医師14年目です。これまでは初期研修修了後、札幌医科大学皮膚科を中心に、釧路赤十字病院、札幌厚生病院、都立墨東病院、日鋼記念病院などへ出向し、皮膚科医として研鑽を積んでまいりました。その後大学院へ進学し、この秋に修了しております。皮膚科は多岐にわたる科ですので広く勉強しております。学位は悪性黒色腫でとり、大学での勤務は主に炎症疾患、アレルギー疾患チームに所属しておりました。



また、個人としては下腿潰瘍などを診させていただく機会が多く、圧迫療法コンダクターの認定を受けております。至らぬ点もあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

産婦人科病棟 シャワーヘッド設置のご紹介

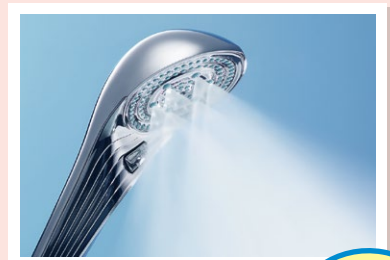


当院の地域周産期母子医療センターでは、より快適な入院環境を提供するために様々な取り組みを行っております。

直近では、産婦人科病棟の全個室と共同シャワー室にシャワーヘッド「リファインバブル」を昨年10月に設置しました。このシャワーヘッドは4つのモード切替ができ、目的にあわせた最適な水流にコントロールできるのが特徴で、利用された方の評判は上々です。

今後もより良い患者サービスを提供できるよう取り組んでいきたいと思っております。

患者サービス委員会



水流
切り替え
可能!

令和4年11月15日(火)18:20より、第59回リバーサイド消化器懇話会が開催されました。今回は、会場とオンラインを併用したハイブリッド形式での開催となりました。

参加者は院外医師15名、院外メディカルスタッフ6名、院内医師15名、院内メディカルスタッフ10名 合計46名でした。

「破裂した巨大肝嚢胞の検討」「腸間膜腫瘍破裂の診断で緊急手術した腸間膜炎症性筋線維芽細胞腫瘍であった症例の検討」「家族性大腸ポリポーシス症例の検討」の3題の講演後、特別講演として、北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室 准教授 渡邊裕先生より「口の健康と栄養に関する最近の知見」についてご講演を頂きました。

次回は3月の開催予定となっております

決まり次第追ってご連絡をさせていただきます。沢山の方々のご参加をお待ちしております。



災害救急指定日

令和5年

2月 14日(火)・24日(金)

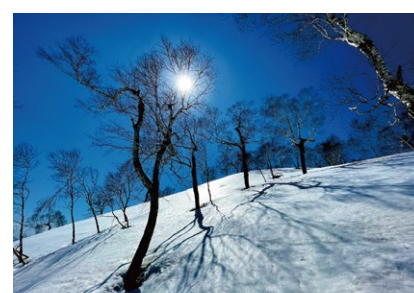
3月 9日(木)・23日(木)

※災害救急指定日は、やむを得ぬ事情により変更する場合があります。毎日の新聞紙等でご確認ください。

今号の1枚

表紙写真紹介

冬季通行止めになるニセコパノラマライン(道道66号)が開通後のチセ春のヌプリBCです。



撮影者：経理課/澤田 和通

JCHO北海道病院 各科外来診療担当医師

〈午前の受付時間〉 8:00～11:00 (診療開始 8:45～)

〈午後の受付時間〉 12:30～15:30

(診療開始は各診療欄をご覧ください)

● 病院代表電話 : 011-831-5151

● 予約変更直通電話 : 011-831-5489 (平日 9:00～16:00)

※担当医師、診療時間について変更になる場合がございます。

診療科	午前・午後	月	火	水	木	金	
総合診療救急科	内科系 午前 <small>午後(救急車のみ)</small>	北尾 直之 秋山 采慧	相澤 佐保里 秋山 由樹	前田 由起子 加藤 政俊	前田 由起子 小山 智之	前田 由起子 伊藤 昂哉	
	外科系 午前 午後	数井 啓蔵 庄野/酒井/岩崎 (交代診療)(午後)	正村 裕紀 岩崎 美恵(午後)	正村 裕紀 庄野/酒井/岩崎 (交代診療)(午後)	数井 啓蔵 酒井 俊彦(午後)	数井 啓蔵 庄野 泰弘(午後)	
循環器内科	午前 午後 (診療 13:00～)	高橋 将成	本居 美羽	井上 直樹	高橋 将成	木村 銀河 不整脈外来 (第3金曜日)【予約】 木村 銀河 ペースメーカー外来(第1金曜日)	
心臓血管外科	午前		吉田 俊人				
呼吸器内科	午前	1診 相澤 佐保里 2診 水島 亜玲	原田 敏之 谷口 菜津子	原田 敏之 谷口 菜津子	長井 桂 水島 亜玲	三田 明音 長井 桂	
消化器内科	午前 午後(診療 14:00～)	1診 古家 乾 2診 馬場 英 3診【予約】野口 卓郎【化学療法】 坂本 直哉【予約】	桜井 健介 定岡 邦昌 合田 智宏【化学療法】	古家 乾 菅野 究 竹内 啓【化学療法】	大原 正嗣 定岡 邦昌	細田 峻一 馬場 英	
腎臓内科	午前	山本 準也		関 真秀	山本 準也	関 真秀	
膠原病内科	午前【予約】	志田 玄貴	志田 玄貴		吉村 大	志田 玄貴	
糖尿病・ 内分泌内科	午前	1診 2診	北尾 直之 國崎 哲		北尾 直之 國崎 哲	北尾 直之 國崎 哲	
	午後 【予約】	1診 2診	牧野 圭祐 北尾 直之(14:00～) 國崎 哲(14:00～)	牧野 圭祐 北尾 直之(14:00～) 國崎 哲(14:00～)	牧野 圭祐(13:30～) 國崎 哲(14:00～)	北尾 直之(14:00～) 國崎 哲(14:00～)	
内科	午前	1診 2診	大江 真司【予約】 前田 由起子	竹内 正	大江 真司【予約】		
小児科	午前	1診 板倉 治 2診 椿 淳子	板倉 治 椿 淳子	板倉 治 椿 淳子	伏屋 菜穂 椿 淳子	澤田 博行 椿 淳子	
	午後 (診療 13:30～)	3診		那須 敬 [新生児フォローアップ]	中久保 佐千子(9:00～) [神経](月2回)		
		一般	板倉 治	板倉 治	乳児健診【予約】	加藤 はるか	中島 泰志 伏屋 菜穂 [新生児フォローアップ、アレルギー]
		慢性外来 【予約】 ・その他		椿 淳子【内分泌】 加藤 はるか [喘息・アレルギー]	予防接種【予約なし】 受付時間12:30～14:30	中久保[神経](月2回) /永井[循環器](月2回)	1ヵ月健診【予約】 [産婦人科外来]
新生児 フォローアップ	伏屋/恩田	那須 敬	那須/恩田	赤城 秀紀【予約】			
整形外科	午前	1診 庄野 泰弘 2診 酒井 俊彦(10:00～) 3診 岩崎 美恵	庄野 泰弘 酒井 俊彦 寺島 理代	庄野 泰弘 寺島 理代 岩崎 美恵	遠藤 健(第1・3週) 酒井 俊彦 出張医	寺島 理代 岩崎 美恵(10:00～)	
外科	午前	一般 植木 伸也 専門外来 (初診・紹介) 予約 肝・胆・脾外科 乳がん検診	数井 啓蔵 乳腺・甲状腺外科 乳がん検診	数井 啓蔵 胆石症外来 乳がん検診	正村 裕紀 呼吸器外科(肺癌、気胸、嚥胸) /内視鏡外科 乳がん検診	坂本 謙 そけいヘルニア (脱腸)外来 乳がん検診	
	午後 (診療14:00～)	一般 乳腺外来 【予約】					
頻尿器科	午前 午後(診療14:00～)	1診 高柳 明夫 2診 仙田 勝也(10:30～) 高柳 明夫	幸前 和 仙田 勝也(10:30～)	高柳 明夫 仙田 勝也(10:30～)	高柳 明夫 幸前 和(10:30～) 高柳 明夫	出張医 幸前 和(10:30～) 交代診療	
産婦人科	午前	1診 山田 俊 2診 小山 貴弘(初診) 3診 藤井 タケル	小山 貴弘 佐々木 瑞恵(初診) 小田 泰也	小田 泰也 藤井 タケル(初診) 山田 俊(前半)吉川 葉(後半)	佐々木 瑞恵 小田 泰也(初診) 山田 俊	藤井 タケル 山田 俊(初診) 小山 貴弘	
	午後 (診療14:00～)	1診 吉川 葉(初診) 2診 3診	佐々木 瑞恵 交代診療(初診) 助産師外来	交代診療(初診) 助産師外来	山田 俊 交代診療(初診) 助産師外来	山田 俊 交代診療(産後) 交代診療(産後)	
眼科	午前 午後 (診療14:00～)	1診 藤尾 直樹 2診 田中 瑞希	藤尾 直樹 田中 瑞希	藤尾 直樹 田中 瑞希	藤尾 直樹 田中 瑞希 藤尾 直樹 田中 瑞希	藤尾 直樹 田中 瑞希	
耳鼻咽喉科	午前 午後 (診療14:00～)	1診 藤原 智貴 2診 太田 亮【予約なし】	藤原 智貴 太田 亮	交代診療	藤原 智貴 太田 亮	藤原 智貴 太田 亮	
皮膚科	午前 午後 (診療14:00～)	1診 米田 大介 2診 松田 宇充	米田 大介 松田 宇充	米田 大介 松田 宇充	米田 大介 松田 宇充	米田 大介 松田 宇充	
麻酔科(ペインクリニック・予約)	午前	実藤 洋一		神田 知枝		笠井 裕子	
放射線診断科	午前	杉浦 充			杉浦 充		
禁煙外来【予約】	午後(診療13:30～)	長井 桂			原田 敏之		

JCHO北海道病院

〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18

URL <https://hokkaido.jcho.go.jp> facebook <https://www.facebook.com/jchohok>

〈医療機関専用：総合支援センター直通〉 TEL 0120-515-830 FAX 011-815-1005

ホームページはこちら

